

みはらふくし情報

ぼらせんだより 6月



朗読ボランティア 養成講座 受講生募集!

視覚に障がいのある人のために、活字で書かれている広報誌や新聞、書籍の内容を“音声にして伝える”朗読や、録音の技術を身につける講座を開催します。

視覚に障がいのある人の日常生活において日々の情報は大切なもののひとつですが、点字の読めない人、とくに中途失明者の方への情報は限られた範囲でしか得られません。そこで、**視覚に障がいのある人の「目の代わり」となって、情報を声で伝える朗読（音訳）ボランティアを養成します。**

7月3日（金）～令和3年2月5日（金）

申込締切
6月30日（火）

13時30分～15時30分 原則 毎月第1・3金曜日開催（全15回）

ところ：**ペアシティ西館**（三原市城町 1-2-1 総合保健福祉センター）

内容：発声の基礎練習、朗読（音訳）やパソコンを使用した録音の技術習得、ガイドヘルプ体験 等

受講料：無料 ただし資料代 1,000 円と保険代 100 円

定員：30名（先着順）

対象：講座修了後に、朗読ボランティアとして活動できる人

講師：朗読録音グループ「声の友」会員

申込み：三原市ボランティア・市民活動サポートセンター
TEL：0848-67-9339 FAX：0848-63-0599

主催：三原市社会福祉協議会



昨年の養成講座の様子

サン・シープラザの利用について

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月15日（水）からサン・シープラザの貸館が休止されていましたが、6月1日（月）より再開されます。

三原市ボランティア・市民活動サポートセンターの交流スペースもご利用いただけます。施設利用の際には新型コロナウイルス感染症防止のため、つぎの点についてご協力をよろしくお願いいたします。

- 発熱・かぜ症状がある時は利用を控える。 ●マスクを着用する。
- 利用開始前後に手洗い又は手指消毒を必ず行う。
- 3密（密集・密接・密閉）の回避
 - ・部屋の空間を最大限利用し、人と人とが密接しない。
 - ・できるだけ2メートル（最低1メートル）間隔をとる。
 - ・こまめに換気する。（例：使用前後、1～2時間毎に10分程度）
- 会話は可能な限り、真正面を避ける。
- 鼻水、唾液などのついたゴミは、ゴミ袋などに入れて縛り、持ち帰る。
- 施設利用後は使用した場所の消毒をお願いします。（管理室で消毒用品をお渡しします）

マスク着用時の
熱中症に
注意しましょう。



つながる♡手作り布マスク!



5月14日(木)三原市社会福祉協議会に寄せられた手作り布マスク300枚を、スーパーニチエーの移動販売車「とくし丸」に贈りました。「とくし丸」の利用者には高齢者や買い物に行くことが難しい人も多く、マスク不足で困っている人達へと手渡して配布されます。



「マスクが買えずに、どうしようかと思っていた」「本当にありがとうございます」「可愛くてオシャレなマスクをもらって気持ちが明るくなった」と嬉しい声をいただきました。

スーパーショーの移動販売車「とくし丸」へも250枚の手作り布マスクを贈りました。



その他にも、三原市内の社会福祉法人や、障がいのある人へも手作り布マスクを贈り喜ばれています。



「布マスクお届け隊」へのご協力 ありがとうございました!

ボランティアセンターを訪れた方との何気ない会話の中での一言、「マスクがなくて困っている…」さらに、「布マスクを作ったけど、役に立ててもらえたら…」とお声かけいただいたボランティアさん。みなさんの思いから始まった「布マスクお届け隊」の活動でしたが、たくさんのご協力をいただき、1,200枚のマスクが集まりました。心から感謝いたします。

手作りマスクに込められた優しい気持ちは、マスクを受け取った人たちに必ず伝わっていると思います。



色も形もいろいろなマスクが集まりました!手作り布マスクだけではなく、布やゴム等の材料のご提供もいただきました。本当にありがとうございました。

●みはら市民協働サイト つなごうねっと ●

三原のイベントや団体の情報満載!

<http://mihara.genki365.net/>

ボラセンに閲覧用のパソコンがあります。

発行:三原市社会福祉協議会

三原市ボランティア・市民活動サポートセンター

〒723-0014 三原市城町1丁目2-1

(サン・シープラザ 4階)

電話 (0848) 67-9339

FAX (0848) 63-0599

Mail miharavs-c@m-shakyo.jp